

4 / 30 校長室より⑩

今日もまた、さわやかで気持ちのよい一日となりました。

30メートル以上離れたところからも、元気な1年生の挨拶あいさつが聞こえてきます。

一度のみならず、二度も、三度も挨拶してくれる人も多くいました。

中学生としてがんばりたいという思いや 当面の目標 が見えるようです。

学級活動は、「みんなで居心地いごこちのよいクラスをつくる」ための話し合いでした。

“ゆずりあい”を大切にして、学級委員はじめ様々な係や委員会の所属が少しずつ決まっています…。

決して、人に嫌な役割をおしつけないこと、ゆずってくれた人には、あたたかな拍手と「ありがとう」が言えることを大切にしていました。

4つの小学校から集まり、まだ、お互いをよく知らない不安な環境の中で、本
当に前向きに取り組んでいるなあ、と感心させられました。大規模改修たいきほかいしゅうの工
事も真まっ最さい中ちゅうで、ネイルガン（くぎ打ち機）の音がけたたましく校舎ひびに響く
中、目の前のことに集中しようとしている1年生の姿が健気けなげに感じました。

そんな1年生の様子を見ていて、

「置かれた場所で 咲きなさい」（渡辺和子 著）という本を思い出しました。
今の世の中の状況もまさにそうですが、「こんなはずじゃなかった」と思うことが、生きてると本当によくあります。でも、たとえそんな状況の中であっても、自分を咲かせる努力は怠らないようにしたい… そんなことを考えさせられるような本だったように記憶しています。

時間の使い方は、そのままいのちの使い方。

もったいないことは、したくないですね。

今、自分が置かれたところこそが、今のあなたの居場所です。

十分な環境でない中、**不平も言わずがんばっていたみなさん、**

そして、**仲間を思い、学級を思って、役割をゆずってくれたみなさん、**

本当にありがとう。

すでに、**みなさんは、咲きはじめている** のではないでしょうか。